2027年3月期
第１四半期 決算補足資料

2026年 8月 14日

INNOVATION

株式会社イノベーション
東証スタンダード市場：3970

会社概要

Mission

「働く」を変える

ビジネスにInnovationを起こし、
働く喜びと感動で満ちた社会へ

会社名	**株式会社イノベーション**
所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目10番13号 TOKYU REIT 渋谷R ビル3F
代表者	富田　直人
従業員数	311名 ※2026年6月末時点
資本金	415,540千円 ※2026年6月末時点
子会社	株式会社Innovation & Co. 株式会社シャノン 株式会社Innovation X Solutions 株式会社Innovation IFA Consulting 株式会社Innovation M&A Partners INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合 INNOVATION V Capital投資事業有限責任組合

グループ構成・事業セグメント

INNOVATION

INNOVATION
株式会社
イノベーション
（東証スタンダード 3970）

連結子会社

- 株式会社Innovation & Co.
- 株式会社シャノン（東証グロース：3976）
  - 株式会社Innovation X Solutions
- 株式会社Innovation IFA Consulting
- 株式会社Innovation M&A Partners
- INNOVATION HAYATE V Capital 投資事業有限責任組合
- INNOVATION V Capital 投資事業有限責任組合

事業セグメント	内容
オンラインメディア事業	B2B販促支援メディアを中心に展開し、 B2B営業・マーケティングの『「働く」を変える』に寄与する ITトレンド　ITトレンド EXPO　bizplay
ITソリューション事業	営業・マーケティングに使用するSaaS群を展開し、 営業・マーケティングの『「働く」を変える』に寄与する SHANON Marketing is Science　List Finder MA　Sales Doc.　Cocripo
金融プラットフォーム事業	IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）サービスや 事業承継M&Aサービスを展開し、 金融やM&Aの営業・マーケティングに新たなスタイルを取り入れる
VCファンド事業	CVCによる投資事業で グループ内での事業シナジーを生み出す

INDEX
目次

1. 2027年3月期1Q 決算概要
2. セグメント毎の概要
3. 業績予想・配当

INNOVATION

1. 2027年3月期1Q 決算概要

業績サマリ（決算概要）

INNOVATION

2027年3月期1Q実績

・全社的なコストコントロールにより、営業損益は黒字転換（9百万円、+195百万円）。当期純利益は△53百万円（赤字幅132百万円縮小）。売上高は計画通りの減少で着地。

2027年3月期通期見通し

・前回公表（5月11日）から上方修正（p.22参照）
・上期は黒字化の定着を最優先。下期は増益継続と新規事業投資など中長期の成長基盤づくりを推進。

単位（百万円）

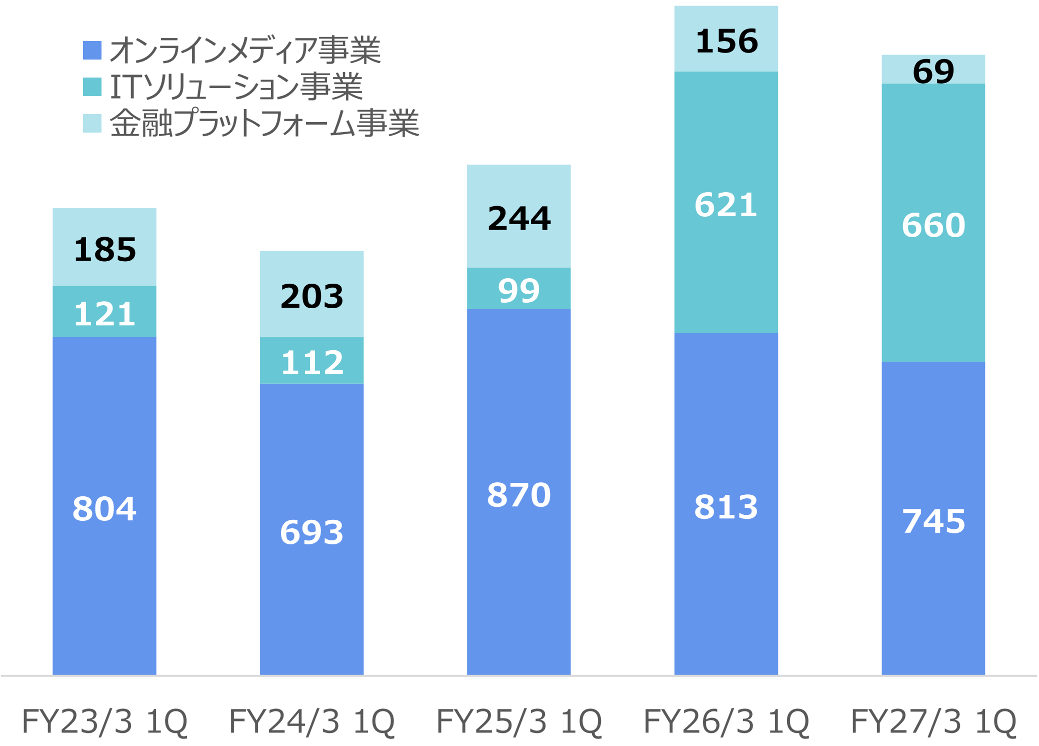
	FY26/3 1Q	FY27/3 1Q	前年同期比（増減）	前年同期比（%）
売上高	1,591	**1,472**	△119	△7.5%
営業損益	△186	**9**	+195	-%
EBITDA	△86	**121**	+207	-%
経常損益	△245	**5**	+250	-%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△186	**△53**	+132	-%

※株式会社シャノンの連結対象期間は2026年1月~3月となります。株式会社Innovation X Solutionsにおける2026年1~3月の業績は、当会計期間には含まれておりません。

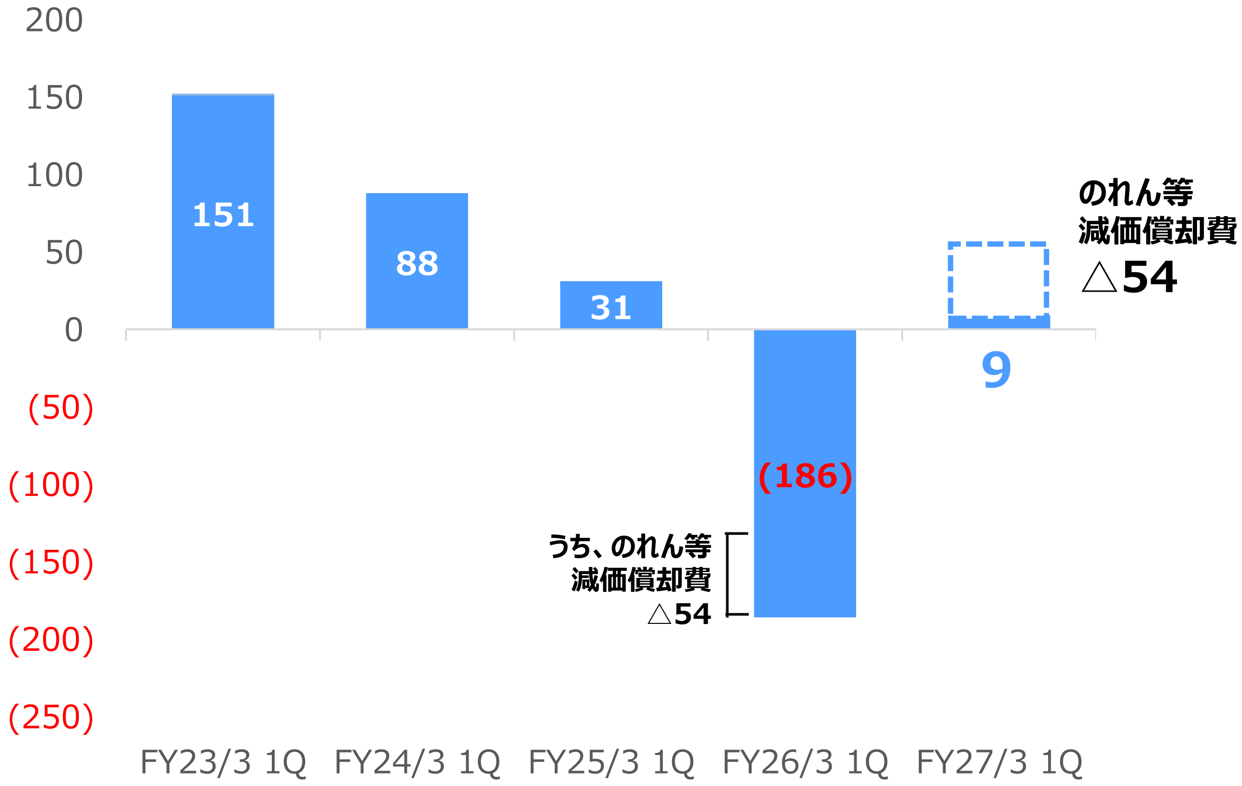
売上高/営業損益

- 売上高は1,472百万円（前年同期比△7.5%）にとどまったが、計画比では概ね**順調に推移**
- 前期通期は成長投資の先行により営業損失を計上したが、当第１四半期は営業利益9百万円(前年同期比+195百万円)となり、黒字転換を達成

▶ セグメント別売上高　単位：百万円



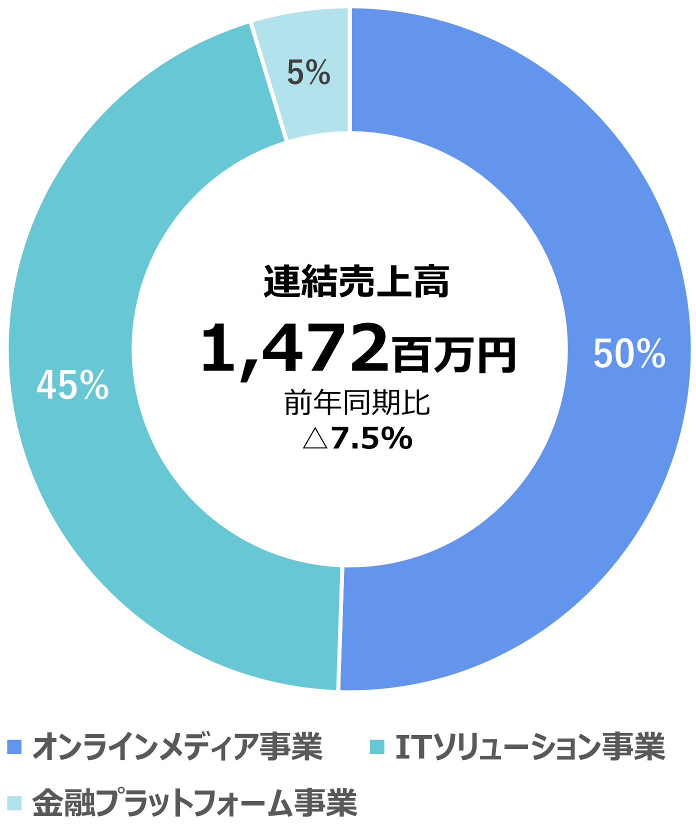
▶ 営業損益　単位：百万円



グループセグメント構成

セグメント	サービス	内容
オンラインメディア事業	ITトレンド	B2B商材のマッチングプラットフォーム
	bizplay	B2B特化の動画プラットフォーム
	ITトレンド EXPO	B2B特化のイベントプラットフォーム
ITソリューション事業	List Finder MA	中小企業向け マーケティング支援クラウド
	SHANON MARKETING PLATFORM	大手企業・エンタープライズ向け マーケティング支援クラウド
	Sales Doc.	営業支援クラウド
	Cocripo	オンラインセミナー支援クラウド
金融プラットフォーム事業	Innovation IFA Consulting	IFAサービス
	IMAP Innovation M&A Partners	事業承継M&Aサービス
ＶＣファンド事業	IHVC IVC	CVCによる投資事業

▶FY27/3 1Q 売上高構成



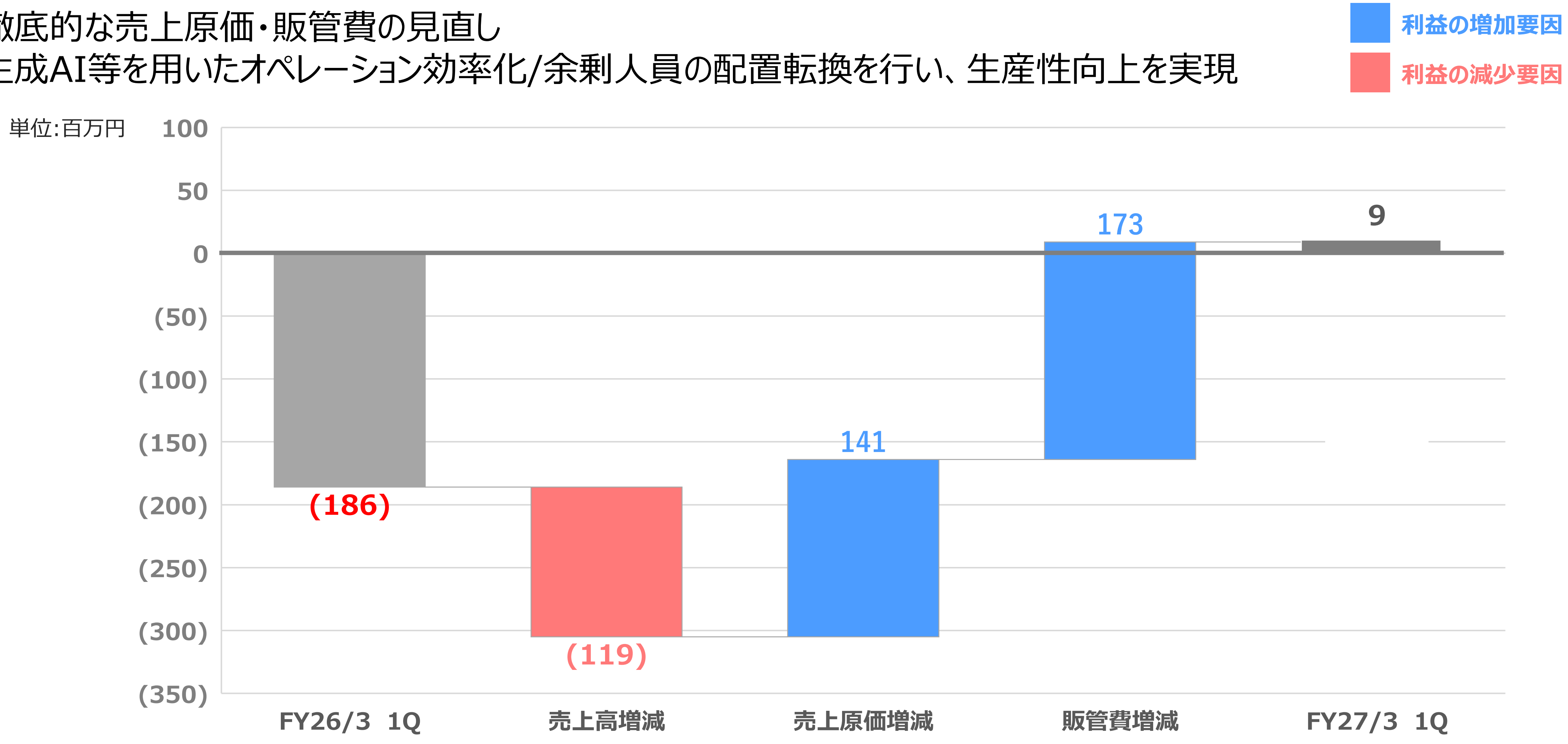
営業損益分析

INNOVATION

売上高は計画通りの減少となったものの、その減少幅を上回る売上原価・販管費の削減により、利益率が向上。

利益重視の事業運営について

・徹底的な売上原価・販管費の見直し
・生成AI等を用いたオペレーション効率化/余剰人員の配置転換を行い、生産性向上を実現

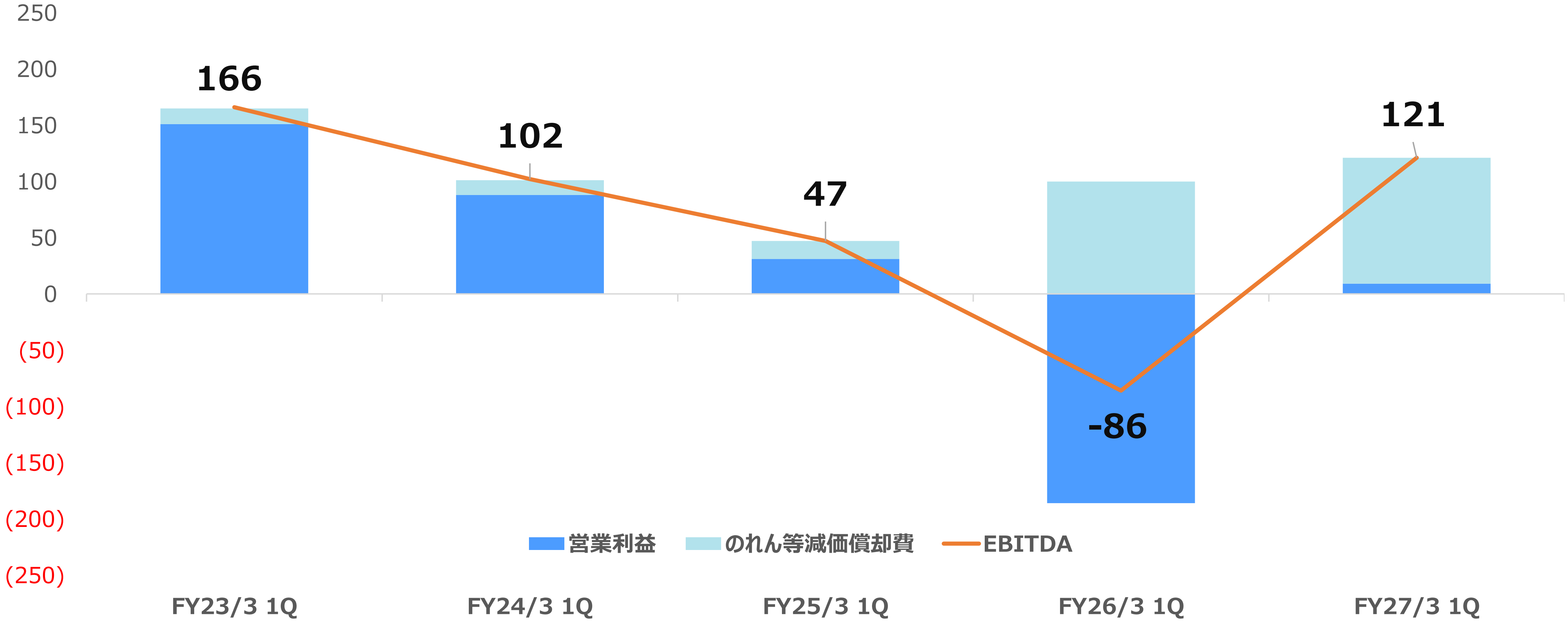


EBITDA

INNOVATION

EBITDAは121百万円（前年同期比+207百万円）となり、収益力は回復基調。
固定費の見直しによるコスト削減に加え、主力事業における利益率の改善が進んだことで、営業利益が黒字転換し、EBITDAの回復を牽引。引き続き収益基盤の強化に取り組み、安定的な黒字体質の定着を目指す方針。

▶ EBITDA　単位：百万円



BSサマリ

INNOVATION

安定した財務基盤の維持を図りつつ、中長期的な成長に向けた戦略的投資を積極的に推進
今後も、**健全な自己資本比率（38.1%）を維持しつつ、資金の効率的な運用を図る方針**

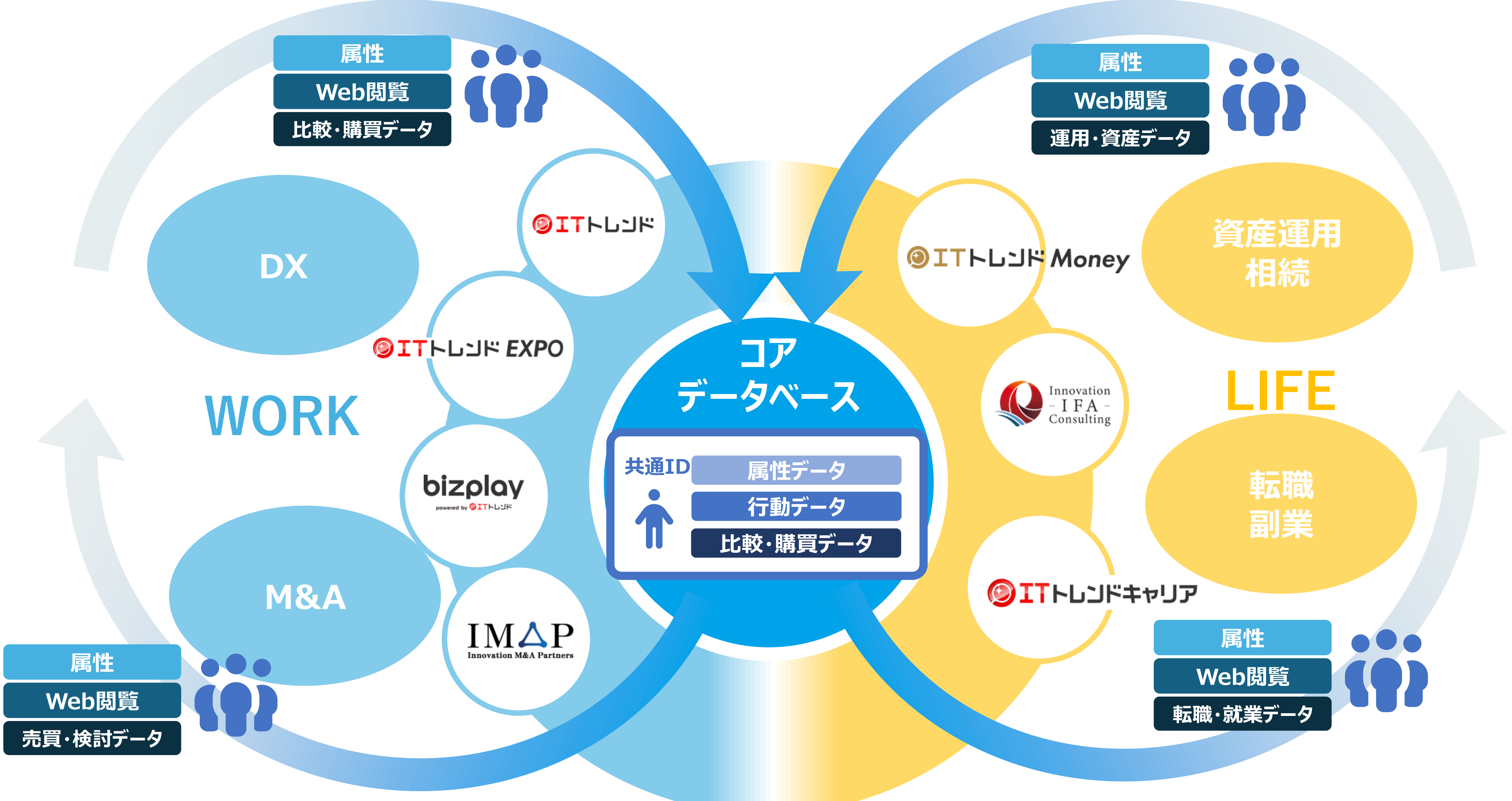
単位（百万円）

	FY26/3 連結	FY27/3 1Q連結	増減
流動資産	4,714	**4,061**	△13.8%
固定資産	3,133	**3,091**	△1.3%
資産合計	7,848	**7,153**	△8.8%
流動負債	2,041	**1,599**	△21.6%
固定負債	2,156	**2,051**	△4.9%
負債合計	4,197	**3,651**	△13.0%
純資産合計	3,650	**3,502**	△4.1%
自己資本比率	36.9%	**38.1%**	-

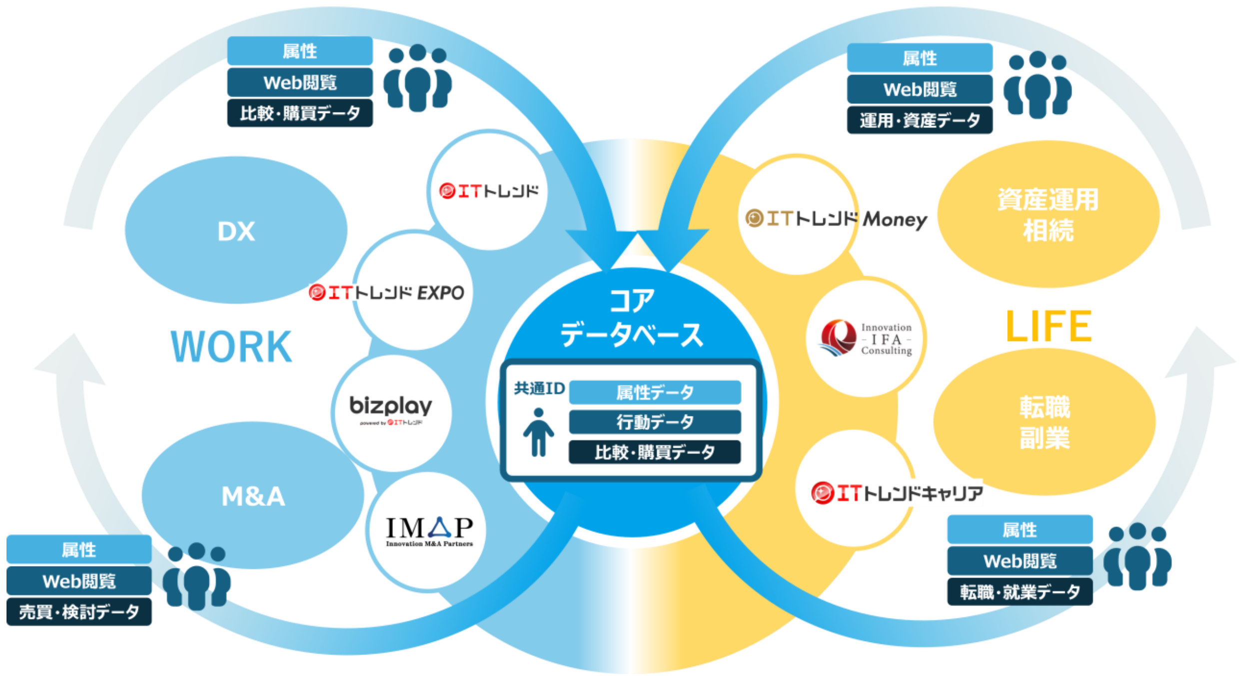
※自己資本比率は、純資産合計から非支配株主持分等を控除した「自己資本」を資産合計で除して算出しております。
株式会社シャノン等、一部連結子会社に非支配株主持分が存在するため、純資産合計を資産合計で単純に除した数値とは一致しません。

グループの戦略フレーム

「**出会いがデータを、データが出会いを生む**」循環型モデルを構築。**データと収益が相互に拡大し、自己成長を実現する。**



グループの戦略フレーム　進捗



構築完了

・**SSO（シングルサインオン）**
複数メディアでのユーザーを
1人紐づけ可能に

・**MA（メール配信基盤）**

構築中（～2027年3月期上期）

・**CDP（Customer Data Platform）構築**
顧客データの統合分析基盤

（2027年3月期下期）

・**事業横断でのマーケティング検証開始**

通期　・**会員データ拡張のための新規事業検証**

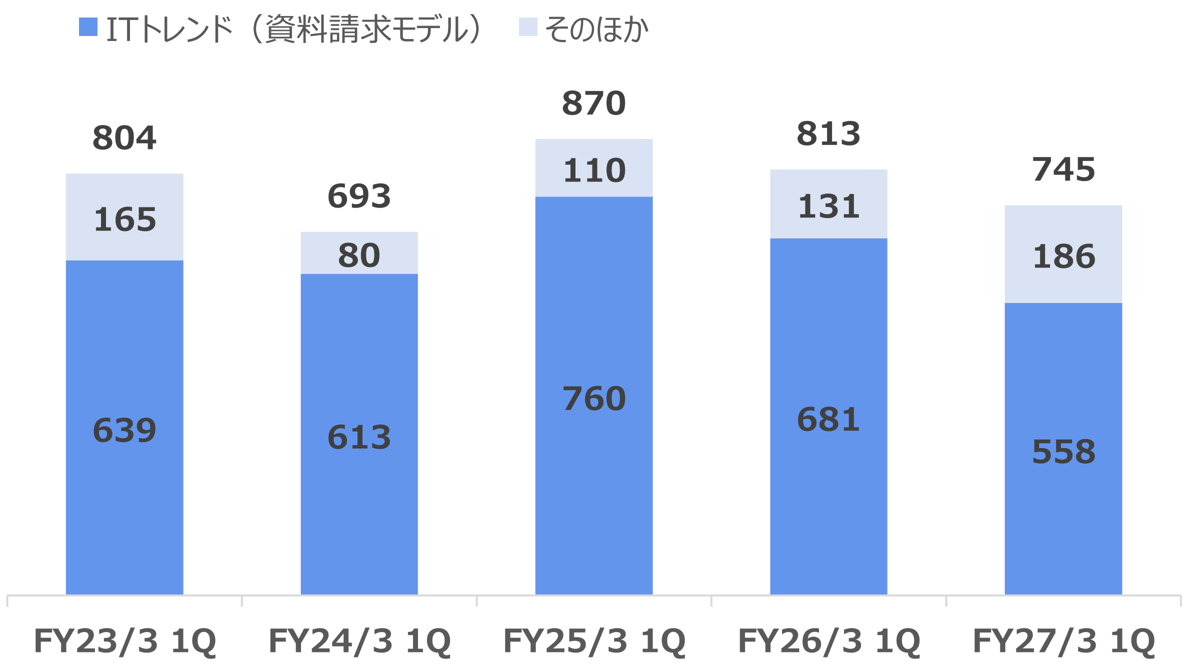
2. セグメント毎の概要

オンラインメディア事業　売上高・セグメント損益

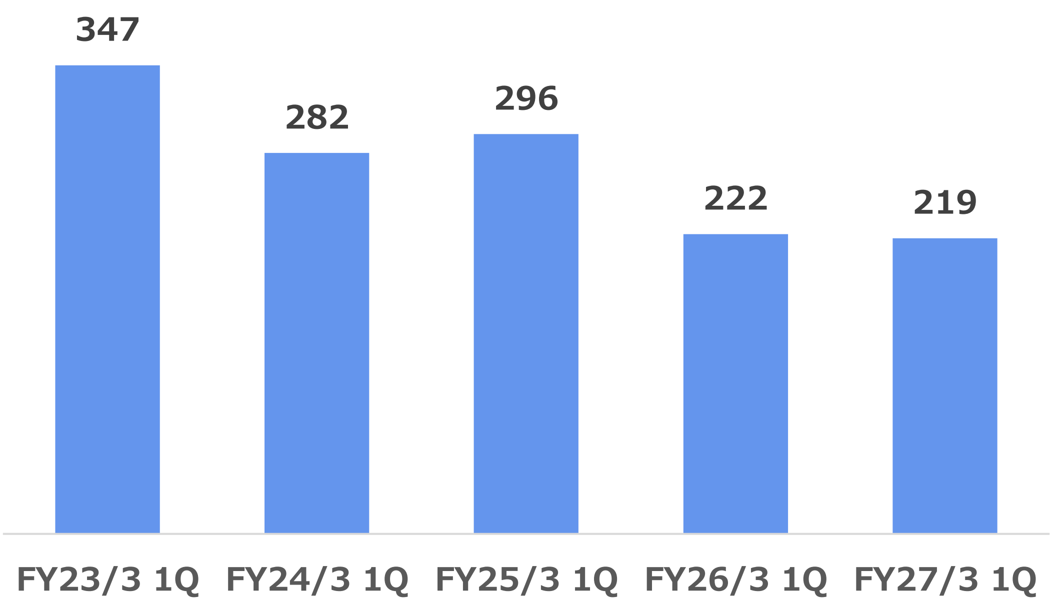
売上高は745百万円（前年同期比△8.4%）、セグメント利益は219百万円（前年同期比△1.3%）となったが、
収益性を重視した運営を徹底し、売上総利益率+2.7pt、セグメント利益率は+2.2pt向上。計画通りの水準で着地。

ITトレンドの来訪者数は3,948,132人（前年同期比△4.3%）となり、生成AIの浸透による情報収集行動の変化は引き続き一定の影響を与えているものの、AIエージェント等によるアクセスも増加し、前年度と概ね同水準を維持。

▶ 売上高 推移　単位：百万円



▶ セグメント損益 推移　単位：百万円



※売上高の内訳について：「そのほか」は、bizplay、ITトレンドEXPO、ITトレンドの月額サブスクリプションモデル等を含みます。
2026年3月期までは「ITトレンド」「ITトレンド以外」で分類していましたが、今後は既存の資料請求モデルでの利益率向上と
新規メディア及び月額サブスクリプションモデルの売上伸長を目指し分類を変更しています。

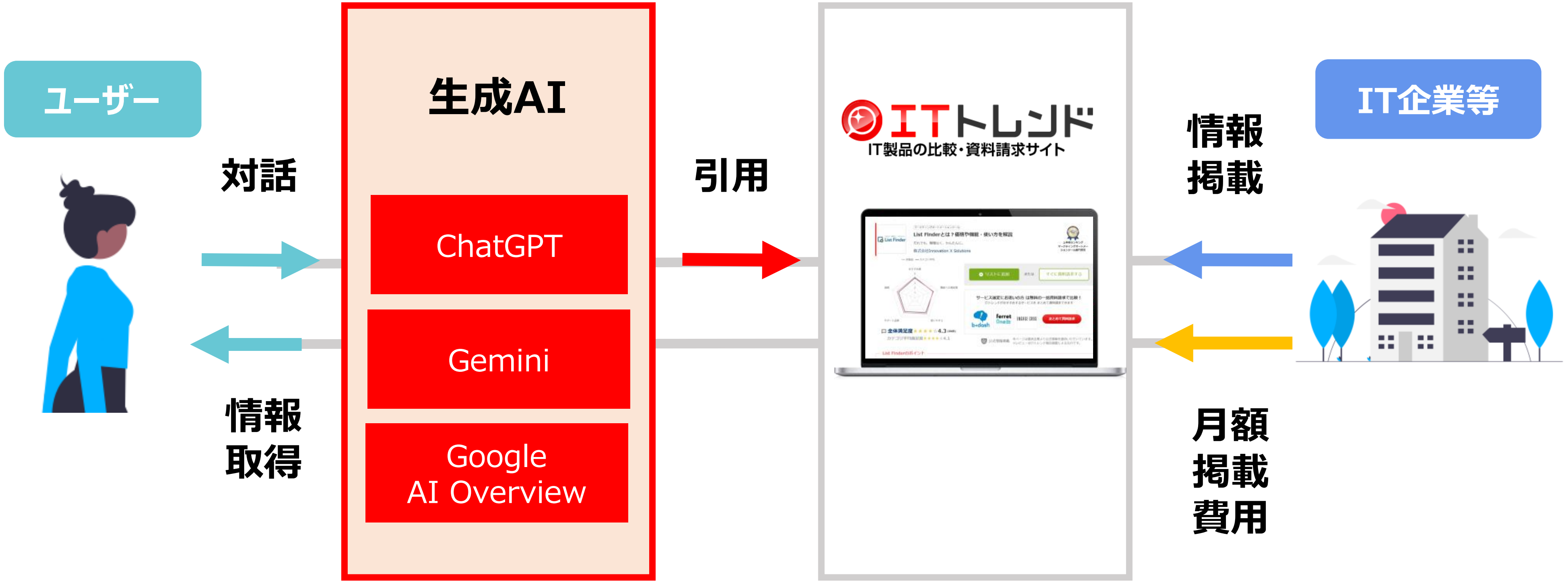
オンラインメディア事業　ビジネスモデル転換

INNOVATION

ITトレンド 月額サブスクリプション： 契約製品数は順調に伸長

検索中心だった情報収集が、ChatGPTやGoogle AI Overviewなど生成AIによる引用・要約へとシフトしつつあり、
コンテンツの数と質（AIが引用しやすい構造）を担保することで、生成AIへの露出拡大と掲載企業の価値向上を図る。
既存の資料請求フロー収益に加え、月額サブスクリプションのストック収益を積み増し、売上・利益伸長を目指す。
営業活動は計画どおり順調に推移中。

▶ **新しいビジネスモデル：月額サブスクリプション**



ITソリューション事業　売上高・セグメント損益

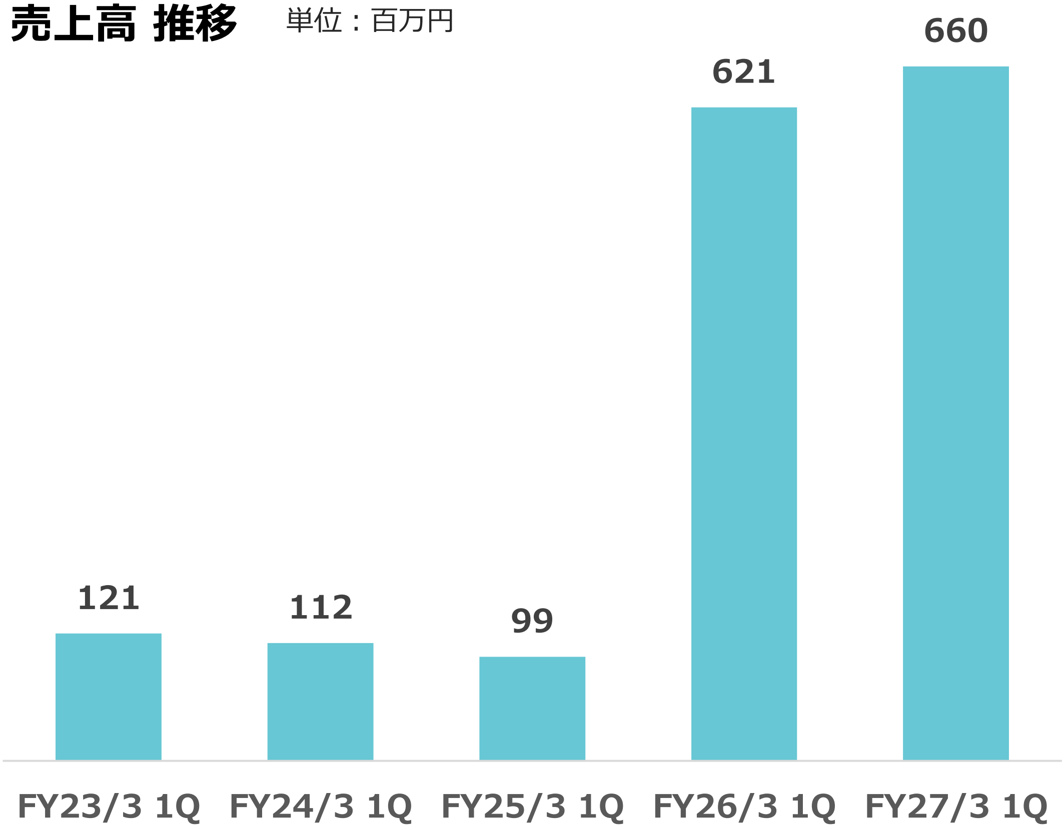
INNOVATION

売上高660百万円（前年同期比＋6.3%）、セグメント利益116百万円（前年同期比＋829.4%）

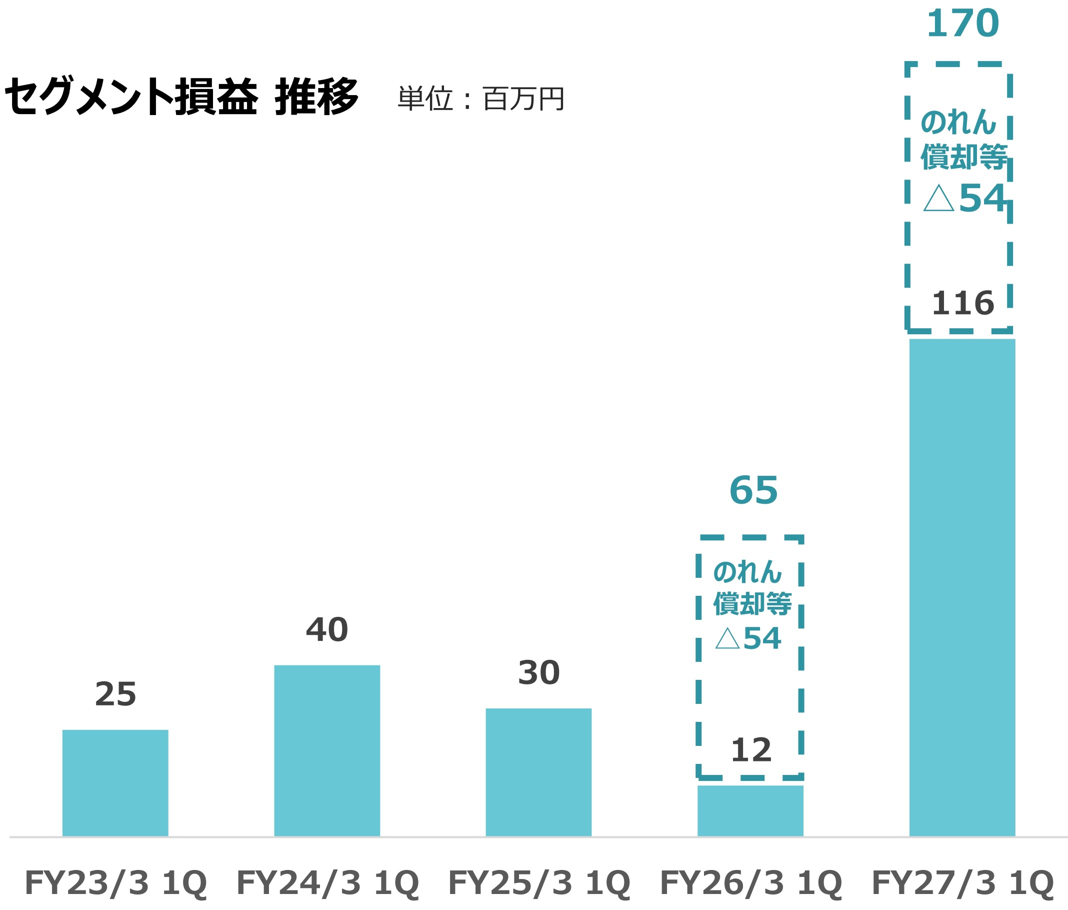
主な変動要因と戦略進捗

- 過去の不採算事業の整理等により主力事業であるサブスクリプション事業に経営リソースを集中、財務体質を改善
- 徹底したコスト管理と運用（生産）効率の向上

▶ **売上高 推移**　単位：百万円



▶ **セグメント損益 推移**　単位：百万円

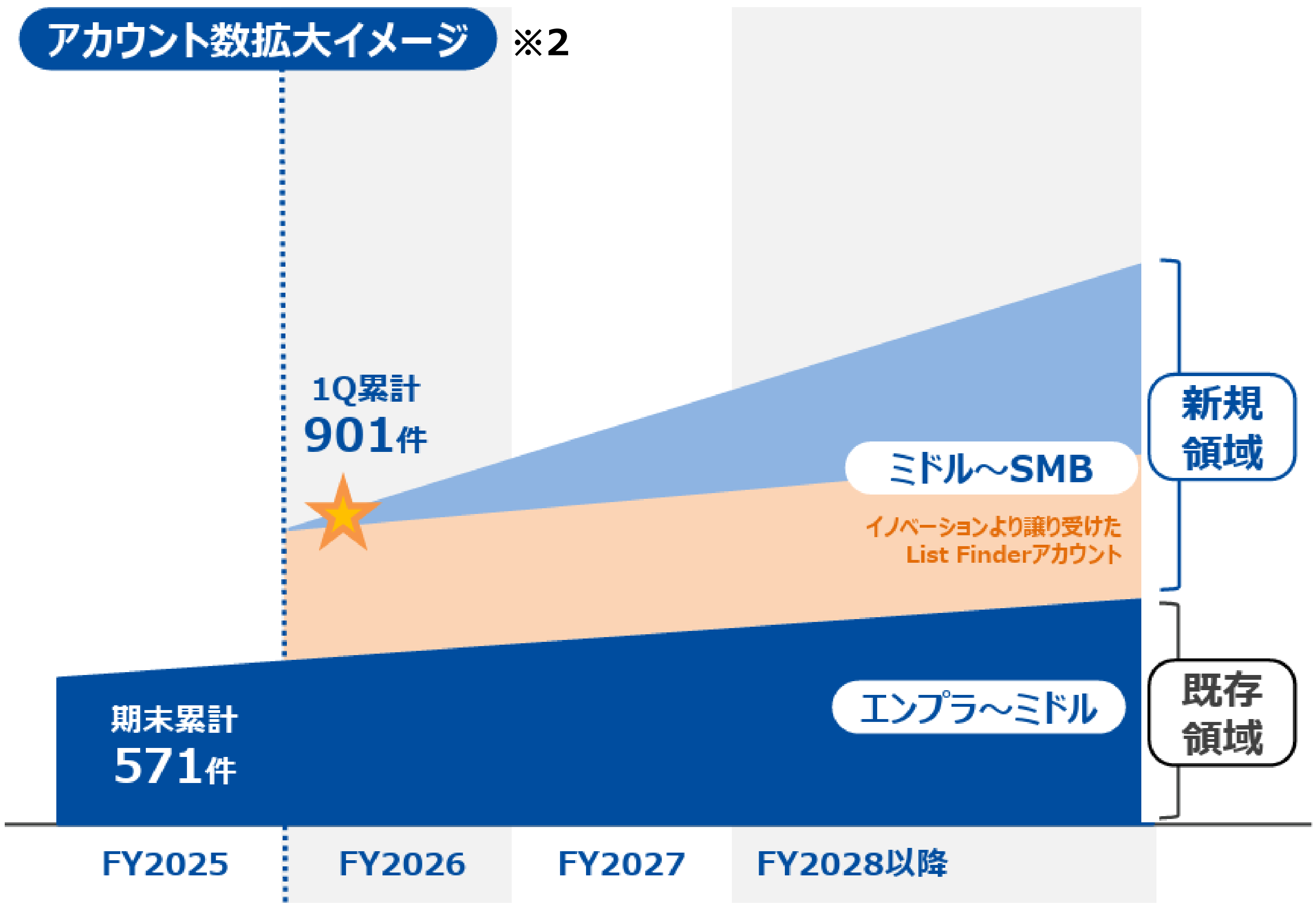


※株式会社シャノンの業績について、当社財務諸表への連結対象期間は2026年1月~3月の3ヶ月間となります。
なお、2025年12月に当社がシャノン社に譲渡した株式会社Innovation X Solutionsの業績につきましては、第1四半期のみ連結対象外となります。

ITソリューション事業　主要KPI

INNOVATION

- **SHANON MARKETING PLATFORMおよびList Finderにおける累計アカウント数：901件※1**
  引き続きミドル～SMB向けの販売にも注力し、受注ベースアップを狙う



※1：株式会社シャノン1Q（2026年3月末時点）換算
※2：株式会社シャノン 2026年12月期第1四半期決算補足資料（2026/5/15）p.19より抜粋

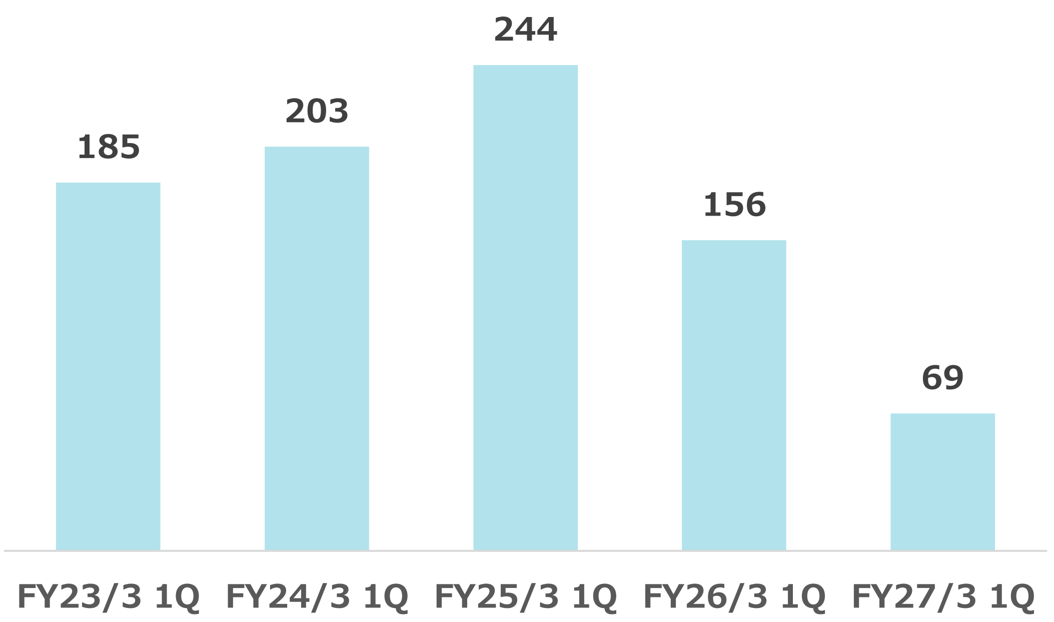
金融プラットフォーム事業　売上高・セグメント損益

INNOVATION

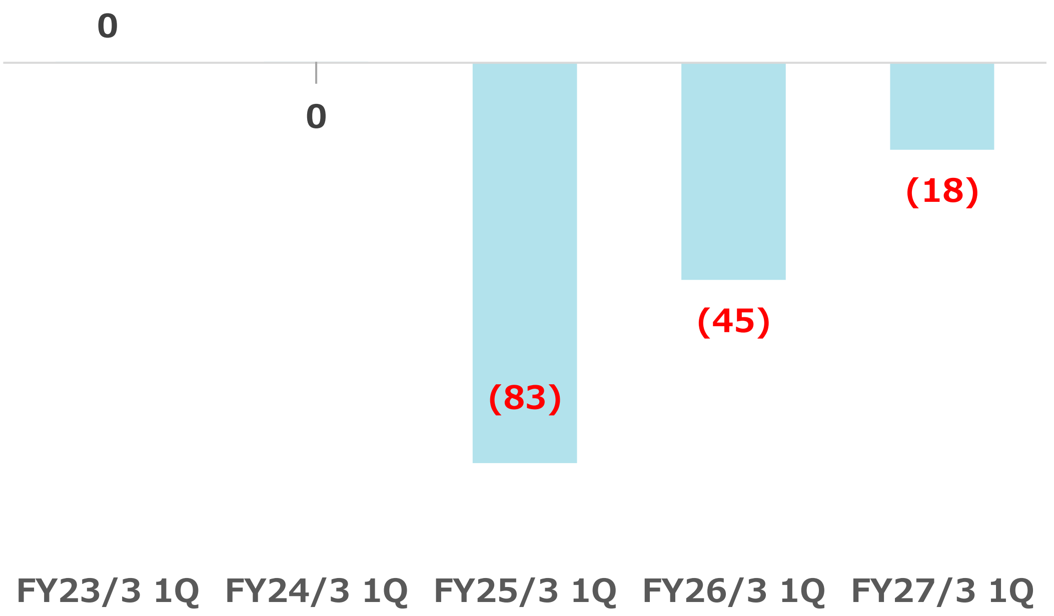
売上高は69百万円（前年同期比△55.8%）、セグメント損益は△18百万円

主な変動要因と戦略進捗
- 前年に実施したIFA業務委託部門の売却により固定費抑制を狙ったが、同時に売上も減少
- 販管費の見直しが概ね完了し、セグメント利益は復調傾向
- 引き続きビジネスモデルの転換・筋肉質な営業体質への改善を図る

▶ 売上高 推移　単位：百万円



▶ セグメント損益 推移　単位：百万円



VCファンド事業　第1四半期の取り組み

前年第４四半期において、INNOVATION HAYATE V Capital（IHVC）にて株式会社リングブル、INNOVATION V Capital（IVC）にて株式会社エースタークォンタムへ投資実行。

IHVC INNOVATION HAYATE V Capital

INNOVATION HAYATE V Capital 投資事業有限責任組合

投資期 → 成長期 → リターン期

投資企業

GVA TECH / Secure Innovation / MIL / kuzen / MONO Investment / GIG INC. / LOOV Inc / lingble

IVC INNOVATION V CAPITAL

INNOVATION V Capital投資事業有限責任組合

投資期 → 成長期 → リターン期

投資企業

tokuty / シゴトル / A*QUANTUM

3. 業績予想・配当

通期業績予想の修正について

INNOVATION

通期業績の営業損益、経常損益、当期純利益につきまして、上方修正を公表いたしました。

上方修正の概要

・主に以下事業における営業利益の向上

-ITソリューション事業：株式会社シャノンにおいて、2025年1月のTOB以降のPMIフェーズで経営体制を見直し、不採算事業の整理と徹底した販管費コントロールにより利益体質への転換が実現。セグメント利益は前年同期比+829.4%と大幅に拡大しており、累計アカウント数901件を土台にさらなる収益拡大を目指す。

単位（百万円）

	FY27 1Q（実績）	FY27通期 前回予想（2026/5/11公表）	FY27通期 今回予想（2026/8/14公表）	増減額（前回-今回）	増減（%）
売上高	1,472	7,030	7,030	0	0.0%
営業損益	9	130	280	150	115.4%
経常損益	5	96	240	144	150.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	△53	25	220	195	780.0%
配当		40.00円	40.00円	-	

業績予想・配当

INNOVATION

単位（百万円）

	FY26/3 実績	FY27/3 計画（修正後）	前期比（増減）	前期比（%）
売上高	6,968	**7,030**	**+61**	**+0.9%**
営業損益	△248	**280**	**+528**	**-%**
EBITDA	205	**769**	**+564**	**+275.1%**
経常損益	△334	**240**	**+574**	**-%**
親会社株主に帰属する当期純利益	△457	**220**	**+677**	**-%**
配当（予想）	40.00円	**40.00円**		

本資料の取り扱いについて

本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的として作成されたものであり、
有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通し、戦略、計画、見積等に関する記述は、
現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、
実際の業績等は様々な要因により、これらとは大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載された業界動向・統計情報等は、信頼性が高いと判断される情報源をもとに作成しておりますが、
その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。

本資料をご利用される際は、ご自身の判断と責任において行動いただくようお願いいたします。
当社は、本資料の内容に基づいて生じたいかなる損害についても責任を負いかねます。